

山名	太神山から矢筈ヶ岳	山行名	例会			
ルート	アルプス登山口 → 太神山 → 矢筈ヶ岳 → 御仏河原 → アルプス登山口					
山行日	令和元年10月9日(日帰り)	天候	晴れ			
参加者	リーダー：樋口 サブリーダー：西川(榮) 男性：佐々木、永井 女性：倉光、伊藤(多)、永江、井上 合計：8名					
ルート概略図						
				コースタイム		
		地名	時：分	地名	時：分	
アルプス登山口バス停		集		出会峠	着	13:40
		発	9:23		発	13:45
迎不動		着	9:55	矢筈ヶ岳頂上	着	13:55
		発	10:00		発	14:00
泣不動		着	11:10	御仏河原	着	14:55
		発	11:15		発	15:00
太神山頂上		着	11:50	アルプス登山口バス停	着	15:50
		発	12:30		発	
矢筈ヶ岳分岐		着	13:00		着	
		発			発	
山行報告						
<p>前日までの曇りがちの蒸し暑い天候は一変して、気温は少し下がり、カラットした快晴の絶好のハイキング日和となった。アルプス登山口バス停で準備体操をし、10月1日付けで入会された3名の新入会員を含む8名で出発した。</p> <p>45分程アスファルトとの林道を歩き山道(太神山不動寺参道)へ入った。参道に入るあたりから、10月1日からは松茸シーズンのため入山禁止の貼り紙があちこちにあり、気にしながらの山行となった。なお、太神山ハイキンの資料には、松茸シーズンは太神山不動寺参道のみ入山可と記載されていた。太神山不動寺参道は、比較的ゆるやかな坂道が太神山山頂まで続き、スムーズに太神山山頂に着き昼食をとった。頂上直下には懸崖作りの立派な不動本堂があった。</p> <p>昼食後、太神山から矢筈ヶ岳へ向かった。矢筈ヶ岳分岐から出会峠までは、小さい登り下りを繰り返す尾根道が続いた。出会峠から矢筈ヶ岳までは急登で、あえぎあえぎ登った。</p> <p>矢筈ヶ岳頂上は、展望はなかったが、すぐ下に琵琶湖を望むビューポイントがあった。矢筈ヶ岳頂上から出会峠に引き返し、出会峠から御仏河原まで、歩きやすい道を下った。</p> <p>御仏河原から最初の林道までの富川道は、ナメ状の谷を滑らないように注意しながら下った。</p> <p>アルプス登山口バス停に予定通り、16時少し前に無事着き、16時8分発のバスでJR石山駅へ向かった。今回は、新入会員の方々と和気あいあいにハイキングを楽しむことができた。</p>						
ヒヤリハット						
特になし						

太神山から矢筈ヶ岳（湖南アルプス）

永井繁一

登山教室終修了後、初めての山行参加。

全くの初心者で、山行経験は教室での3回のみ。今回の山行予定を山友会HPで見つけ、これなら私でも行けるか と思って思いエントリーする。

当日は晴天。集合するとメンバーに教室参加者が2名。顔見知りの参加で少し緊張がほぐれる。

アルプス登山口バス停よりスタート。緩い登りの舗装道をしばらく歩くと車止めゲートに「マツタケ発生時期で入山禁止」との注意書きあり。文面をよく読むと規制の印の範囲が入山禁止と確認でき、先に進むとすぐに太神山登山口に到着。ここからが山歩きのスタート。

“湖南アルプスは、岩場の多い山並みからその呼称が付いた”とIさんから聞いた通り、歩き始めると大小多くの岩が表れる山道で、安定そうな踏み場を探しながら黙々と登る時間が続いた。道は木々の木陰で暑さを感じることもなく、緑と風が心地よい時間であった。

山頂手前の不動寺より先は急な石段が続き、途中に現れた本堂は清水寺のやぐらを連想させる木造基礎の立派な建物。ここを過ぎて石段を進むと太神山頂上（599.7m）に到着。ここで昼食を始めるが、心地よかった風が汗ばんだ体を冷やし始め、上着を羽織って冷え対策。周りのメンバーを見渡すと重ね着で食事中。教室で教わった、服で温度調整という基本を忘れて、反省!!



食事を終えて矢筈ヶ岳に向けてスタート。矢筈ヶ岳分岐まで、来た道に戻り縦走を開始。高低差は大きくないがアップダウンの繰り返しが多く、膝が笑い気味。更に出発前に靴紐の締め直しを忘れたことで、靴の中で足が遊び始める。ここでも反省!! 矢筈ヶ岳への分岐から山頂までは結構きつい登りだったが途中に、琵琶湖北西を臨む展望スポットが表れ、本日一番の景色を楽しんだ。



矢筈ヶ岳山頂（562m）を後にして雑木林を下っていくと、流れの小さい沢が出現。沢全体に露頭があり、表面を水が流れたり地下に潜り再び表面に出たりする富川道（沢道）を、登山口に向かう。表面に水が流れる岩や湿った岩は滑るので、極力乾いた岩を選びながら注意して移動したが、乾いているように見えた岩で滑り、しりもちを付いた。今振り返ると、表面の乾いた岩だけ選んで進むことで、必然的に大股になったり、姿勢を垂直に保てずバランスを崩した状態だったりであったと思う。これがしりもちの一因かも？

小股で足裏全体を使い体重を支える基本。またまた反省です。

今回のヤママップデータ
距離：11.7km、
高低差：850m、
行動時間：5時間30分



樋口 CL 撮影（露頭の富川道）

今後も体力・技術の星印を頼りに、登れる・登りたい山に参加して、山行を楽しみたいと思う。

前日の天気予報では、お日様マークばかりずらりと並び、降水率 0%。予報に違わず、当日は完全無欠の秋晴れ。まるで神様にプレゼントされたような美しい一日を山で過ごせるなんて、ラッキー！ 行きの道では日差しが朝露を光らせ、帰りにはススキを輝かせていました。

湖南アルプス、太神山～矢筈ヶ岳は初めてのコース。太神山までの道中は迎不動、地藏堂、泣不動に不動寺と、次々に宗教的なスポットが現れます。二尊門の二体の石像は、素朴で優しい顔と風情に見とれてしまいましたし、不動寺本堂の懸崖造りは立派なのに驚かされました。この山も人々の信仰の対象であったのがよくわかります。

太神山から矢筈ヶ岳へのコースは軽いアップダウンを繰り返す歩き易い道。木漏れ日の射す、木立の中のプロムナード。心地良い風を受けながら、気分よく歩いて行きます。矢筈ヶ岳への最後の急登で、ひと汗かきました。

下りの後半に現れたゴロゴロの河原道に、新会員さんたちが少し難儀しましたが、これもいい経験とみなさん元気いっぱいバス停に向かいました。みなさんの初々しい会話を聞きながら、「初心忘れるべからず」と何だかひねこびてきた我が身に言いきかせたのでした。あれ、そもそも私に「初心」なんてあったっけ？

こんな近場の素敵なコース、お世話して下さった CL、SL のお二人に感謝！ です。

